

萩ジオパーク 推進協議会だより

vol.54

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>

2019年8月30日発行 萩ジオパーク推進協議会



夜×火山×たんけん＝絶対おもしろい

8月24日(土)夜の火山たんけん隊
@笠山山頂噴火口にて

萩ジオユニバース「大地の遊び人養成講座#2」 地球と遊ぶキャンプ入門

7月28日(日)に、「大地の遊び人養成講座」の第2回、「地球と遊ぶキャンプ入門」が開催されました。集まった参加者は10名。キャンプ初心者が大半です。夏らしい猛烈な日差しの中、会場の遠岳キャンプ場(阿武町)でキャンプに必要な様々な技術や知識を体験的に学びました。

講師は、ジオガイド養成講座でもお世話になった菊間彰さん(一般社団法人をかしや代表)です。ロープワークで2つの結び方を習ったら、それを使って参加者だけの力でタープ張りをしました。特別な道具はほとんど使いません。キャンプ場脇の森から切り出した竹を支柱にし、ホームセンターで買ったブルーシートとPPロープを使って10人が入れる立派なタープが完成しました。

基地が完成したら、昼食の準備です。マッチの火から安定した焚火にまで火を“育て”、かまども無事に完成しました。魚を捌いたり、お湯を沸かして素麺を茹でたり、野菜を焼いたり…。カセットコンロと中華鍋でつくる簡単だけど本格的な燻製も。みんなで準備した昼食は、格別の味でした。

体験を終えた参加者からは、高いアウトドア用品を買わなくても、存分に楽しめることが分かったし、外で過ごす、遊ぶということをもっとやりたい、と次につながるような多くの感想をいただきました。自然の中にあるもので、工夫をして快適な環境を生み出す、という精神を学ぶ機会になりました。大地の遊び人として、大地の上で、自然の中でそれを肌で感じ取りながら“過ごす”という遊び方を習得できたのではないのでしょうか。



習ったロープワークを駆使してみんなで建てたタープ



子どもを育てるように扱うのが火起こしのコツ

『第10回日本ジオパーク全国大会おおいだ大会 Wa!～「わ」を体験しよう!～』参加者募集

11月に日本ジオパーク全国大会2019が九州の大分県で開催されます。全国大会は、年に一度、ジオパークを推進している地域の方、ジオパークに興味がある方、また地元の方々が一堂に会し、先進事例を学ぶとともに、自分たちのジオパークをPRし、他の団体と交流を深める場です。

当協議会では、多くの皆さんに参加していただくため、貸切バスを用意し、須佐発着（～奈古～萩～山口経由）のツアーを企画いたしました。

今大会では、通常の体験・展示ブースのほかに、全国6つのブロックに分かれてパビリオンが設けられ、ブロックごとに全国のジオパークを体験することができます。また、皆さんの取組を、口頭発表あるいはポスター発表してみませんか。発表者の大会参加費の一部を推進協議会が負担します。全国の皆さんと一緒にジオパークの「Wa!」に触れてみませんか。詳しくは、大会の公式HP <https://oita-geo2019.jp/> をご覧ください。（「JGN 全国大会2019」で検索）

全国大会の前後でジオツアーが企画されています。大分県のジオパークである姫島ジオパーク、豊後大野ジオパーク、隣接する阿蘇ユネスコ世界ジオパークのプレツアー及びポストツアーです。こちらもぜひ、ご参加ください。参加される方の大会参加費の一部は推進協議会で負担し、取りまとめて申し込ませます。ツアー内容等、詳しくは協議会までお問い合わせください。

と き：2019年11月2日（土）
～11月4日（月・祝）2泊3日

会 場：【2日】大分県大分市

開会セレモニー、基調講演、パネルディスカッション、体験・展示ブース・九州ブロックジオパークパビリオン、大交流会

【3～4日】豊後大野市

招待講演、口頭発表、ポスター発表、分科会、全国ジオパークブロック別パビリオン、閉会セレモニー

宿泊先：大分市内

対 象：推進協議会会員

募集人員：30人（先着順）

参加料：32,000円

（大会参加料・11/2・3 宿泊代・11/4 昼食代）

申込締切：2019年9月10日（火曜日）

申込方法：萩ジオパーク推進協議会

（萩市ジオパーク推進課 ☎0838-21-7765）

へ電話してください。その後、詳細資料とともに参加申込書をお送りいたしますので、必要事項を記入の上、9月17日までにご返送ください。

「夜の火山たんけん」で最高の夏の思い出を

8月24日（土）、『危険生物に遭遇!?親子de火山たんけん～夜の火山たんけん隊～』が開催されました。これは、今夏萩博物館で開催された特別企画展「危険生物大迷宮」と「夏だ!萩ジオパーク行こう」が共同で情報発信するきっかけとなった、萩博物館と萩ジオパークのコラボ企画です。7月27日（土）には「朝の火山たんけん隊」を虎ヶ崎の椿群生林で行いましたが、今回は第2弾。夜です。

会場は約1万年前の噴火でできたという小さな火山、笠山。その山頂から美しい日本海の夕景を眺めたり、わずかな光を頼りに真っ暗な火口の中を探索したり、噴火の大実験で火山の秘密を究明したり、夜の火山に住む生き物をつかまえて観察したり... てんこ盛りの内容で大盛り上がりでした。

申込みはすぐに定員いっぱいとなり、キャンセル待ちも出るほどの人気企画となった夜のたんけん隊ですが、夜の企画は、私たちもちろん初めてのことで、不安とドキドキのイベントでしたが、子どもたちの笑顔と驚きの声に大成功を確信!!これは、また来年も結成されるかも!?



萩博物館の危険生物捜索隊から、子どもたちに緊急指令。トラップを使って笠山の生き物を調査せよ!



真っ暗な笠山山頂火口の中で噴火実験。真ん中の赤く光ったペットボトルはな～に?

JGN 認定審査レポート

世界に向かってチャレンジ！～Mine 秋吉台ジオパーク

7月28日(日)～30日(火)に、Mine 秋吉台ジオパークがユネスコ世界ジオパークへの申請の可否についての現地審査を受けました。10月に開催される日本ジオパーク委員会において、世界への申請が認められるかが決定します。

現地審査を行ったのは中田節也委員長など3人で、審査は会長(西岡美祢市長)のプレゼン、現地ガイドの様子や保全方針の確認、民間団体へのヒアリングなど多岐に渡りました。美祢 GP は2015年に日本ジオパークに認定され、最近では英国人を事務局スタッフに加えるなど世界を見据えて準備を進めてきました。

10月の委員会で申請が認められると、ユネスコへ正式に申請書を提出し、その後、改めてユネスコの書類審査・現地審査があります。難関をくぐり抜け、日本で10番目の世界 GP が山口県に誕生するか、皆さんで注目しましょう。



大正洞へ入る審査団一行

日本ジオパークを目指して！～五島列島ジオパーク構想現地審査リハーサル



おんだけ
福江火山群の1つ「鬼岳」の火山灰露頭

日本ジオパークネットワークへの加盟を目指して、長崎県の五島列島ジオパーク構想地域(五島市)が8月10～13日に現地審査を受けました。それに先立ち、7月29・30日にリハーサルが行われ、萩から白井専門員が審査員役で同行しました。五島列島には、萩ジオパークの阿武火山群と同じく、日本に3つしかない活火山の単成火山群(福江火山群)があります。平らな溶岩台地の景色と、その上の人々の暮らしは、萩と共通点が多く、でも異なる部分もあってとても興味深い地域でした。しかし、地域住民のジオパーク活動はリハーサルでは見えにくく、具体的にどのような地域を目指しているのかがわかりにく

い印象でした。リハーサルの最後には、それらが審査員に正確に伝わるような内容にするよう助言をしました。45地域目の日本ジオパークが誕生するのか、10月の結果発表を楽しみに待ちましょう。

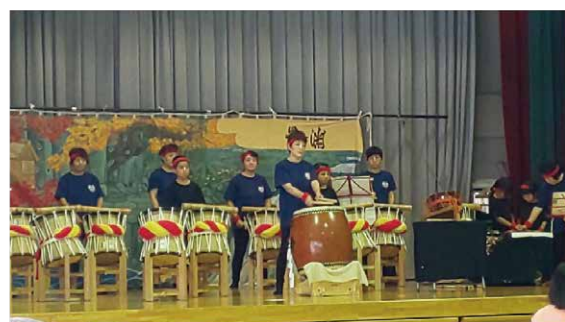
イベントレポート 「龍が通った道まつり」7/27

伊良尾火山の噴火でできた大地に生きる弥富・小川・福賀の方々が大地と人のつながりを知ってもらうために始めたイベント「龍が通った道まつり」。「壘ヶ淵」という地域資源を地域内外の方に知ってもらうためのイベントだった「龍神まつり」を、この地の成り立ちがよくわかる場所であるジオサイトを「龍が通った道」として各自で巡ってもらう形に変えて3回目の開催でした。

スタンプラリーのスタートは各自の好きなところから、ゴールは弥富地域交流センターです。昼食は弥富の手打ち十割そばとも

ち麦の炊き込みご飯。その時間に合わせ、弥富龍神太鼓や長州神楽田原保存会などのアトラクションがありました。萩ジオパーク推進協議会からは、ココアとコンデンスミルクを使った実験を提供し、この地域の大地の成り立ちについて会場の皆さんに体感していただきました。

8月26日には実行委員会が開かれ、振り返りを行いました。地域内外の方に、この地域のジオパーク活動に触れていただくためには、どんなやり方がいいのか、仕掛けを考えておられます。



子どもたちも参加し、迫力が増した龍神太鼓

萩ジオパークの新ロゴマーク投票 ご協力ありがとうございました！

推協だより vol.51（5月下旬発行）でお知らせしました萩ジオパークの新しいロゴマークについては、投票を7月31日で締め切らせていただきました。投票総数は、1,849票。たくさんの投票、本当にありがとうございました！発表は、日本ジオパークネットワーク加盟1周年を記念して、2019年9月20日（金）に行います。

さて、どのマークになるのか？皆さんお楽しみに！



9月の予定 -Information-

●萩ジオアカデミー②「阿武火山群①」9月1日（日）10:00～15:00 集合場所：萩・明倫学舎 内容：阿武火山群の不思議「マグマミキシング」のお話とそれがよくわかる場所「千石台」を訪ねます。 定員：30名（受付終了）
料金：1,000円（保険料、昼食代込み） 主催：萩ジオパーク推進協議会
申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

●はぎジオカフェ 9月12日（木）18:30～20:00 会場：萩・明倫学舎 内容：今回は、前回大雨のため中止となった「立山黒部ジオパーク」と、再度テレビ電話を介してつながります。 参加費：200円
主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：前日までに萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

○ジオとも例会（ジオ探訪） 9月21日（土）8:00～16:00 集合場所：萩海運待合室
内容：相島島内を散策します。 参加費：200円（船賃は別、往復1,220円） その他：弁当持参、メ切9/17（火）
主催：萩ジオ友の会 申込・問合せ：ジオとも（西嶋）（0838-26-6123）

●ジオツアー「平山台の果樹農家さんに会いに行こう！」9月28日（土）13:30～16:00 集合場所：弥富交流促進センター 内容：果樹農家さんからなぜこの土地で生産活動をしているのか、お話を聞き、大地と付き合った成果である果樹の収穫体験等を行う 定員：20名（先着順、最少催行人数：10名、申込メ切：9/20） 参加費：3,000円
主催：萩ジオツーリズム協会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

※●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）までご連絡ください。

ジオ・カメラ散歩

みなさんからの素敵な投稿写真をお待ちしています。
萩ジオパーク推進協議会
代表メールへお気軽にどうぞ
geo@city.hagi.lg.jp



←鬼岳火山灰層とタバコ畑
福江火山群の1つ「鬼岳」の麓に広がるタバコ畑。奥に火山灰層の露頭が見えます。火山灰の上は、水はけが良いから栽培に適しているのかな？！



→溶岩台地上の石文化→
福江火山群の黒い玄武岩溶岩を古くから石垣に使っていた痕跡がいつも見えます。あれっ？萩でも見たことがあるような...

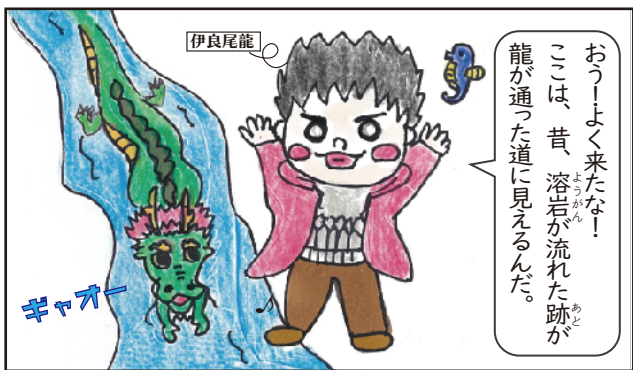
←溶岩台地上の円畑
五島行き飛行機の中から。福江火山群の平らな溶岩の上に、独特の円い畑が見えます。



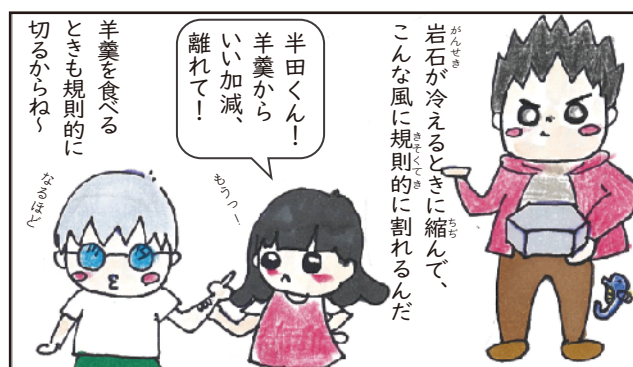
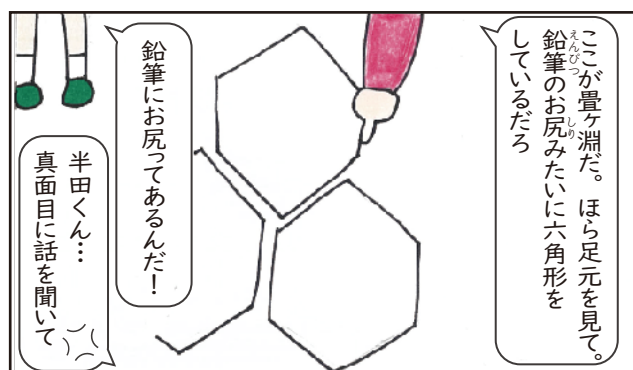
はん だ がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第12話 龍が通った道



第13話 柱状節理は鉛筆の羊糞？



わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説~

半田くんと笠山ちゃんは、今度は、阿武町の伊良尾山に住んでいる伊良尾龍くに会いに行ったみたいですね。龍って怖そうなのに、タツノオトシゴを付けていて、なかなか可愛いですね。怖そうじゃないから、半田くんも調子に乗ってふざけてばかりですね。あんまりふざけていると、伊良尾くんも、イライラしちゃうよ～お(笑)



阿武火山群のひとつ「伊良尾山」(阿武町福賀から)

さて、伊良尾くんの住んでいる阿武町福賀地区には、標高640mの伊良尾山がそびえています。約40万年前に噴火したとされる火山です。阿武火山群の1つですが、阿武火山群の多くがベターッと平らなのに対して、伊良尾山はてっぺんが尖った、火山らしい立派なかたちを示しています。伊良尾山の東側の道路沿いには、「イラオ火山灰層観察施設」があり、誰でも、噴火した溶岩や火山灰(火山砕屑物)の様子を見ることができます。伊良尾山の溶岩は、ハワイのキラウエア山や富士山と同じ、「玄武岩」です。つまり伊良尾山が噴火したときのマグマは珪酸塩成分の少ない玄武岩質で、火口から流れ出した溶岩は、比較的さらさらで、高い所から、低い所へ向かって、どんどん流れていったと思われます。当時の溶岩は、ほぼ北東方向に向かって、現在の萩市弥富地区の田万川沿いに流れて行きました。当てもその辺りに田万川が削った谷の地形があったと考えられます。

この玄武岩の溶岩が流れて行った場所では、現在でもその溶岩を観察することができます。溶岩は、ドロドロに溶けたマグマから出来ていたので、最初はとても熱かったはずですが、それが地面や水、そして外気に触れて、次第に冷えて行きます。物は、冷えると縮む性質があります。餅を焼くと熱いと

きにはプーッとふくれますが、冷たくなると縮みますよね。あれと同じです。溶岩も流れて行き、次第に冷えて縮んで行きます。冷えるに従って、表面から順番に割れていきます。そうして出来るのが、六角柱状に割れる「柱状節理」です(解説は下の図をどうぞ)。その美しい姿は、萩市弥富地区の「壘ヶ淵」や「猿屋の滝」、小川地区の



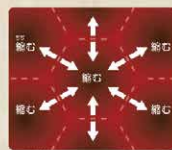
萩市弥富にある「壘ヶ淵」

「龍鱗郷」などでみることができます。どれも、萩ジオパークの重要なジオサイトです。同じような柱状節理は、兵庫県の玄武洞や宮崎県の高千穂峡など国内外多くの場所で見ることができます。県内では、角島大橋を渡る途中で左に見える鳩島や角島の牧崎風の公園、長門市向津具半島の川尻岬や俵島にもありますよ。

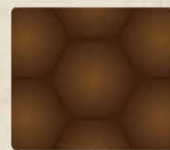
さて、半田くんは、溶岩と羊羹のダジャレをいつまでも引っ張っていますね。それにしても六角柱の羊羹なんてあるわけじゃないじゃないか...と思って調べたら、あるじゃないですか！亀屋万年堂の亀甲羊羹！そして湯布院には、六角形の洋風もなかYAMAVICOもありました。ううむ...六角形お菓子を食べる旅に出ようかな？半田くん、一緒に行こうか？

溶岩の冷え固まり方

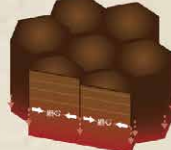
水を抜いた田んぼや泥の中の水たまりが乾いたときの様子を見たことがあるだろうか。六角形や五角形を並べたような亀裂が入ることがよくある。この亀裂は泥の中の水分が抜けて収縮するためにできるものだ。高温のマグマや溶岩が冷え固まって石になるときに、縮んでこうしたひび割れができることがある。これが谷川の河床一面にあるということとは...



溶岩は冷えると縮む性質がある。収縮の中心同士の間には、引っ張られて割れ目ができる。



割れ目が均等にできると六角形になる(五角形や四角形こともある)。



溶岩は表面から内側に向かって冷えていく。それにもなると、割れ目は内部に向かって成長する。



溶岩が内部まで冷え固まると、六角柱(五角柱や四角柱もある)になる。